

プラチナ構想ネットワーク

第 13 回プラチナイブニングセミナー 開催のご案内

日 時 2018年11月29日(木) 16:00~18:00

場 所 霞が関ナレッジスクエア 「スタジオ」

東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート

西館ショップ&レストラン 3F (西館奥 エスカレーター上がる)

※三菱総合研究所会議室ではありません。ご注意ください。

■ テーマ マイクロ再生可能エネルギー最前線

～小さな投資で地産地消エネルギー獲得、マイクロ再生可能エネルギーの動向と課題～

小さな投資で気軽に多くの数を設置できるマイクロ再生可能エネルギーは地産地消に向いている。また、これまで域外に流出していた資金を域内で回すことが可能で地域の活性化につながる。

今回のセミナーでは、マイクロ再生可能エネルギーの具体事例や導入にあたっての課題等についてのディスカッションを行いその可能性を探ります。

■ プログラム (変更になる場合があります。)

16:00-16:05 【事務局連絡】

【主催者挨拶】プラチナ構想ネットワーク事務局長 平石 和昭

16:05-17:20 【講 演】

(1) マイクロ再生可能エネルギーの有用性と普及に向けた課題

谷口 信雄 氏 東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員

(2) 具体的事例の紹介及び今後の可能性と課題

① 我が国のマイクロ水力発電の地産地消は、どうしたら普及するのか

桑野 和雄 氏 株式会社協和コンサルタンツ 顧問

② 新開発 太陽エネルギー回収システムによる

電気・熱の分散型エネルギーネットワークへの貢献

増井 芽 氏 株式会社アクトリー 再生可能エネルギーセンター長

17:20-18:00 【ディスカッション】

(コーディネーター) 林田 収二 氏 古河電気工業株式会社 顧問

■ 参加費

無料 (今回は非会員も無料です。なお、交流会はございません。)

■ 申込方法

参加のお申し込みはメールにて、①お名前(ふりがな) ②ご所属・役職 ③メールアドレス

④お電話番号を明記の上 seminar@platinum-network.jp 宛にお申し込みください。

〔締切 2018年11月27日(火)〕

※イブニングセミナーとは

当会が目指す「プラチナ社会」の実現に向け、日本社会や地域の諸課題の解決に取り組む先駆者を講師としてお招きし、その先進的な手法とプロセスを学び横展開につなげるとともに、会員及び非会員の新たな交流の場を創出し、当会のプラットフォーム機能を強化することを目的としています。



■ 講師のご紹介

たにくち のぶお

谷口 信雄 氏 東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員

【プロフィール】

専門は、再生可能エネルギーの拡大による地域経済の活性化、再エネ技術開発、エネルギーマネジメント、制度構築、事業性評価、地域金融の活性化、地方行政の活性化及びそれらを総合的に考えること。

実績は、風力発電事業、バイオマス発電事業、小水力発電事業、新電力事業、省エネラベリング制度、再生可能エネルギー条例づくり等に係る。国や自治体の再エネ関係の委員等も多数務める。

【講演概要】

マイクロ再生可能エネルギーは、発電単価が割高であり大きな収益は望めない。しかし、大きな投資の必要がない、分散型で地産地消に向いている、小さいが故に法的制約が少ない、したがって地域の誰でもが割と気軽に取り組めるといった長所がある。マイクロ再生可能エネルギーは、そのネットワーク&マネージメント化でこうした有用性を大きく引き出し、地域の防災や福祉等地域のニーズに対応することで地域経済好循環にもつなげることが可能である。



くわの かずお

桑野 和雄 氏 株式会社 協和コンサルタンツ 顧問

【プロフィール】

福岡生まれ。九州工業大学開発土木工学科卒業。1973年株協構造計画研究所入社。建設技術部部长、システム統括営業部長を経て、2001年株協和コンサルタンツ執行役員 新規ビジネス企画室長、常務取締役九州支社長、その後本社経営企画室長を経て現在に至る。構造計画研究所では、主にエンジニアリングアプリケーション分野のシステム開発、商品企画開発に従事。現職では公共事業関連分野における新規商品・事業開拓、近年ではマイクロ水力発電システム開発で国内外の特許を取得。

※ (株)協和コンサルタンツホームページ : <https://www.kyowa-c.co.jp/>

【講演概要】

マイクロ水力発電は、水路や河川の管理者と利用権者、自然と環境の保全と農水事業など他の再生可能エネルギーと異なり、地域の生活と文化と産業において多くの個人や団体が深く関わる事業であり、それだけに「未利用水エネルギー活用」に取り組むには住民合意と事業推進者および地方自治体や地元企業との連携が重要になる。

我が国固有の地勢が生み出す豊富な水資源を背景に、マイクロ水力発電の現状と電力の地産地消の普及への課題に焦点を当てる。



ますい めくみ

増井 芽 氏 株式会社アクトリー 再生可能エネルギーセンター長

【プロフィール】

愛媛大学大学院理学研究科修士課程修了(岩石学)、マグネットセラミックス製造会社で技術開発・品質管理を担当、(株)アクトリーに入社 主に技術開発を担当 2015年再生可能エネルギー研究センター設立により現職、2016年岐阜大学にて「低温無触媒脱硝法の開発」で博士(工学)取得

※ (株)アクトリーホームページ : <http://www.actree.co.jp/>

【講演概要】

これまで人類は、化石燃料と言う魔法のエネルギーを効率的に利用する一極集中のエネルギーインフラを構築してきた。近年、自然災害が日常化し、人口減少も加わり、これまでのエネルギーインフラの維持が困難になりつつある。今後は、面のエネルギーインフラから点のエネルギーインフラに移行すべきではないか。産学官の連携で開発した世界初の太陽から電気・熱エネルギー同時回収システム「iU-SOALA」を例に、分散型エネルギーインフラに貢献する再生可能エネルギーの供給・利用方法を提案する。



【コーディネーター】

はやしだ しゅうじ

林田 収二 氏 古河電気工業株式会社 顧問

【プロフィール】

古河電気工業(株)顧問、

太陽ケーブルテック(株)取締役副社長、(株)MiKuTAY 監査役、中小企業診断士、技術士(経営工学)

45年以上メーカーにて勤務。ITを活用した業務革新、海外における事業展開、物づくり改革等に従事。中小企業診断士&技術士として、ベンチャー企業支援、中小企業活性化推進等に注力。あわせて人材開発や地域社会の活性化にも問題意識を持ち取り組んでいる。



以上

※お申込みの際に記載いただいた個人情報は、当セミナーの運営管理の目的に利用させていただきます。また、今後当社が主催するイベント等のご案内に活用させていただく場合がございます。なお、ご案内不要の場合はその旨お知らせ願います。